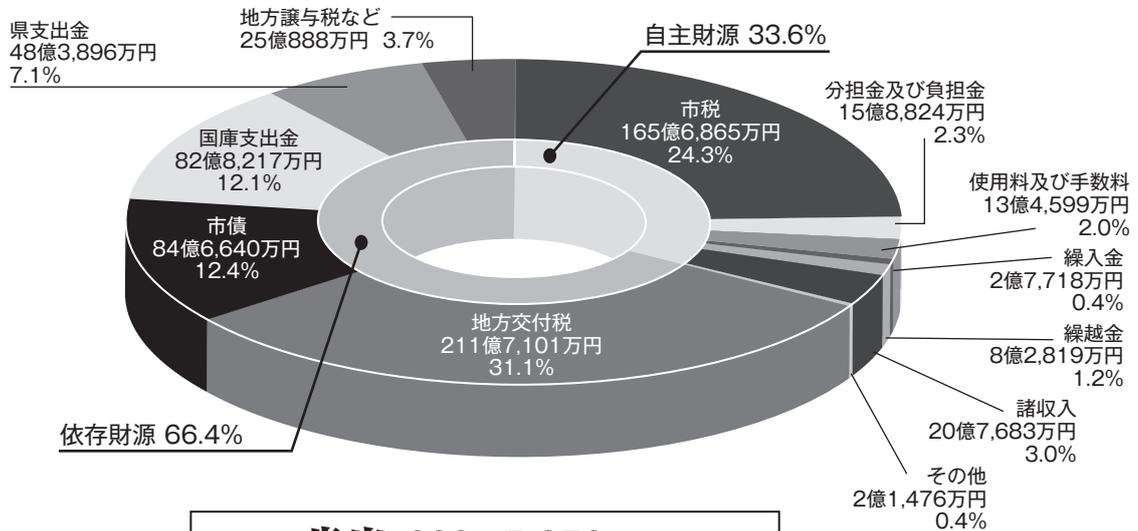


平成22年度 出雲市決算報告

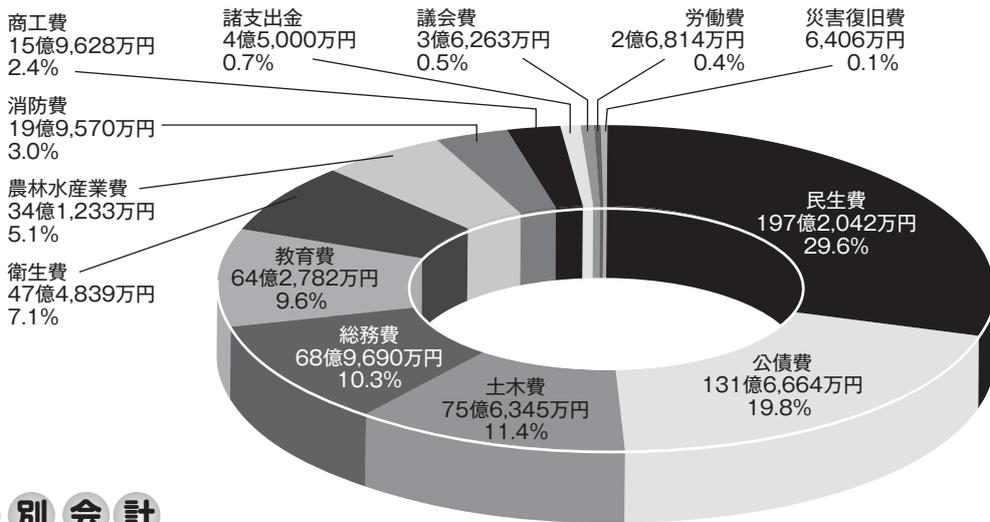
一般会計

歳入 681億6,726万円

決算についてのおたずねは
財政課 ☎21-6608



歳出 666億7,276万円



特別会計

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	146億4,920万円	139億4,239万円
国民健康保険橋波診療所事業	1,141万円	1,004万円
※診療所事業	9,818万円	8,540万円
老人保健医療事業	824万円	824万円
後期高齢者医療事業	26億8,975万円	26億8,873万円
介護保険事業	118億7,487万円	118億4,421万円
簡易水道事業	22億 839万円	22億 779万円
下水道事業	55億1,415万円	54億8,825万円
農業・漁業集落排水事業	18億1,462万円	18億 783万円

会計名	歳入	歳出
浄化槽設置事業	1億4,591万円	1億4,591万円
風力発電事業	2,884万円	2,884万円
※ご縁ネット事業	9,215万円	8,753万円
企業用地造成事業	1,034万円	1,034万円
※駐車場事業	8,995万円	8,995万円
※住宅新築資金等貸付事業	312万円	252万円
※高野令一育英奨学事業	360万円	360万円
廃棄物発電事業	1,712万円	1,610万円
合計	392億5,984万円	384億6,767万円

企業会計

水道事業会計 (税込み)	収益的収支	収入	24億1,337万円
		支出	21億9,412万円
	資本的収支	収入	9億9,075万円
		支出	22億1,637万円

病院事業会計 (税込み)	収益的収支	収入	23億2,221万円
		支出	26億5,272万円
	資本的収支	収入	24億5,209万円
		支出	24億9,669万円

○収益的収支は、1年間の営業収支

○資本的収支は、設備投資などに伴う収支。収入不足額は、損益勘定内部留保資金等（積立金など）で補てんします

普通会計(注1)による決算状況

注1：普通会計とは、会計の組み方が自治体毎に異なるため統計的に財政比較が可能な仮の会計として用いられるものです。出雲市では一般会計のほか、右の特別会計のうち※印のある会計（駐車場事業は一部）を合算したものです。

◎歳入・歳出決算額

項目	平成22年度	平成21年度	増減額
歳入総額	684億3,434万円	685億5,077万円	△1億1,643万円
歳出総額	669億2,185万円	677億 632万円	△7億8,447万円
歳入歳出差引	15億1,249万円	8億4,445万円	6億6,804万円
翌年度に繰り越すべき財源	2億3,420万円	1億 621万円	1億2,799万円
実質収支	12億7,829万円	7億3,824万円	5億4,005万円
実質単年度収支	7億8,521万円	5億 905万円	2億7,616万円

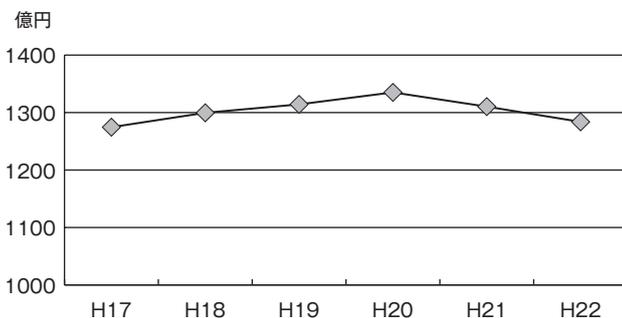
◎性質別歳出の状況

項目	平成22年度	平成21年度	増減額
歳出合計	669億2,185万円	677億 632万円	△7億8,447万円
義務的経費	346億2,783万円	324億7,681万円	21億5,102万円
人件費	101億3,155万円	103億7,988万円	△2億4,833万円
うち職員給	64億1,439万円	66億8,277万円	△2億6,838万円
扶助費	112億8,638万円	91億1,863万円	21億6,775万円
公債費	132億 990万円	129億7,830万円	2億3,160万円
うち繰上償還	2億1,983万円	1億5,856万円	6,127万円
投資的経費	86億2,577万円	117億2,230万円	△30億9,653万円
普通建設事業	85億6,171万円	115億4,584万円	△29億8,413万円
災害復旧事業	6,406万円	1億7,646万円	△1億1,240万円
その他経費	236億6,825万円	235億 721万円	1億6,104万円
物件費	89億3,197万円	91億5,326万円	△2億2,129万円
維持補修費	4億 178万円	5億1,334万円	△1億1,156万円
補助費等	35億1,577万円	44億6,577万円	△9億5,000万円
積立金	11億2,670万円	8億2,360万円	3億 310万円
投資及び出資・貸付金	17億 419万円	12億4,074万円	4億6,345万円
繰出金	79億8,784万円	73億1,050万円	6億7,734万円

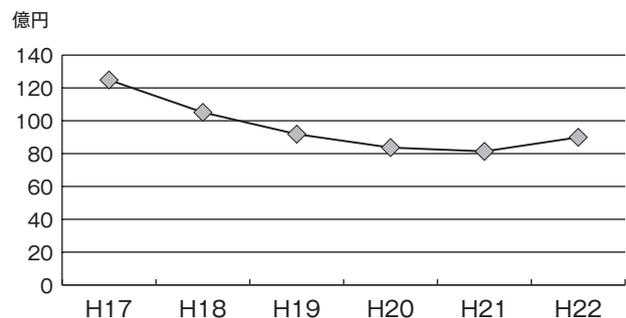
◎地方債・積立金現在高

項目	平成22年度	平成21年度	増減額
地方債現在高	1,283億8,068万円	1,310億3,213万円	△26億5,145万円
積立金現在高	89億9,223万円	81億3,607万円	8億5,616万円
財政調整基金・減債基金	34億9,715万円	31億6,872万円	3億2,843万円
その他	54億9,508万円	49億6,735万円	5億2,773万円

地方債現在高の推移



積立金現在高の推移



一般会計・特別会計監査委員の審査意見書から

～起債の状況について～

起債残高は、一般会計と特別会計を合わせて前年度よりも23億8千万円減少しています。内訳を見ると財政上有利な起債といわれる合併特例債や地方交付税の代替財源である臨時財政対策債がそれぞれ27億円増となったものの、その他の起債は大幅な減となつています。もちろん好ましい傾向ではありませんが、出雲市の起債残高は類似団体の平均値と比べても大きな開きがあり、引き続き起債の削減努力が必要と見られます。

～今後の出雲市の財政について～

単年度だけではなく将来を見据えた展望が必要であることは言うまでもありません。歳入の3割を占める地方交付税も、2市4町の合併から10年後の平成27年度からは段階的に減額されることとしてあり、今のうちから更なる大幅な歳出削減が必要とされています。磐石な財政基盤の確立を目指して、平成22年11月に「出雲市財政スリム化宣言」が発せられたところですが、職員一人一人が、我が家の家計の如く「もったいない」精神で、行政改革や財政改革に取り組んでいただきたいと思います。

【平成22年度決算の特徴】

グランドデザインに掲げる大型プロジェクト（新庁舎、博物館建設事業など）が終了したことに伴い、前年度と同様に歳出が減額となりました。また、地方交付税の伸びや行政改革の効果等により実質単年度収支も改善しました。

しかし、今後数年は借金の返済にあたる公債費の増加が見込まれること、そして平成27年度以降普通交付税が段階的に縮減される見込みであることから、財政の健全化を強力に推進する必要があると考えます。

普通会計決算概要及び監査委員審査意見書は、ホームページでご覧になれます。